

自社開発・製造による高い信頼性 コンピュータを核に多彩な製品を展開

(株)アイシン

(株)アイシン
東京営業所所長
大塚直和氏



(株)アイシンは、1985年に設立され今年30周年を迎える。同社は、レジャー・ラブホテルの管理機メーカーとしてスタートし、現在では、コンピュータシステムを核に、管理機、フロント型精算機、VOD、さらにベッドパネル、学習リモコン、モバイルへの情報発信システムなど、レジャー・ラブホテルにおける弱電設備機器全般を取り扱うメーカーとなっている。また、本社のある九州エリア中心の展開から、8年前に東京営業所を開設し、東日本での展開も進む。本稿では、同社の製品システム開発の考え方、そして主要製品の特徴をレポートする。

ホテルのニーズを捉える 信頼性と機能

同社の大きな特徴は、まず、ハード・ソフトともに自社開発・製造を基本にしていることだ。これにより、ホテルの要望に対応する進化を続けるとともに、365日・24時間営業のホテル事業に求められる信頼性の高い製品の供給を続け、それが高い評価につながっているのだ。

また、「デジタル技術は驚くべきスピードで進化しています。そこで大切なことが「便利で人の役に立つ」ということ。最先端の技術でも専門知識がなければ使えないのでは、人のための製品ではありません。この考え方が当社の企業理念です」と同社東京営業所所長・大塚直和氏は語る。この企業理念を実現していくために、自社開発・製造にこだわり続けているともいえる。

では、同社の主な製品・システムの特徴をみていこう。

① コンピュータシステム「SOLEIL」

同社のコンピュータシステムは、業界のなかでいち早く、ファンレス化・メモリー化を実現した。冷却ファンやHDDといった駆動部は、どうしても経年劣化し故障の原因となりやすい。駆動部を排除することで信頼性を高めたのである。

また、コンピュータ以外の製品・システムにも共通しているが、ソフトのプログラム開発はもちろん、ハードにおいても、回路・基板の設計から同社で行ない、基板実装や組込みも同社指定のISO9001取得工場において行なっている。その結果、ホテルのニーズに対応した機能・使い勝手・信頼性を実現しているのだ。

「落雷などで電話交換機が故障してもコンピュータは問題なかったという評価も多い。とくに信頼性においてホテルから高く評価されています」(大塚氏)という。

② VOD「MEVIUS (メビウス)」

現在、レジャー・ラブホテルにおいてVODの普及が進んでいる。同社は、2007年に第1世代機「わくわくVOD」を開発・投入。2010年には第2世代機、

2013年には第3世代機「MEVIUS」を投入している。

当初の映画配信を中心とした機能から進化し、MEVIUSでは映画・アダルト800作品以上という豊富なタイトル数を提供するとともに、メンバー情報の確認や客室オーダー機能など、現在求められている、ホテルと利用者とのインターフェイスとしての充実した機能が搭載されている。

とくにホテルから評価されているのが、客室オーダーシステムという。オーダーが入ると、フロントのプリンターへの出力に加え、フロント担当者もつスマートフォンにも同様の情報が表示される仕組みだ。フロント係が調理や客室メイクのためフロントを離れていてもリアルタイムでオーダー内容を確認できるのだ。さらに3G回線契約をせずWi-Fi環境で使うことで、スマートフォンのランニングコストも抑えている。

「当社製品は、ソフトによるバージョンアップの対応性の高さも重視しています。VODに関しても第1世代のハードでMEVIUSの内容にバージョンアップしたケースもあります」(大塚氏)

■ コンピュータシステム「SOLEIL」



という。とくにVODのようなソフトのバージョンアップで進化していくシステムにおいては、同社の取組み方は、まさにホテルのニーズに応えるものといえよう。

③ AiMO-WEB (アイモ・ウェブ)

利用者のモバイル向けの情報発信システムとして開発されたのが「AiMO-WEB」だ。2008年に通常の携帯電話向けのシステムとして開発・投入され、2013年にはスマートフォン版が投入されている。

これは、利用者が自身のモバイルから「空室情報」「利用金額」「客室イメージ」などが検索でき「予約」にも対応するシステムだ。ホテルからは「イベント情報」「メルマガ」などが配信できる。ネットを活用したサービスと販促の両面から、今後さらに活用が期待されるシステムだ。

④ その他

そのほか、フロント型の精算機は、複数のロックを設けバール等でのこじ開け対策も施された防犯面に配慮されたものだ。また、スーパーのレジなどで採用されている現金回収機のホテル向けバージョンもあり、現金管理のしやすさから、高い評価を得ているという。

このほかにも、複数のリモコンを1本化できる学習リモコンや、7色に発色するベッドパネルなど、レジャー・ラブホテルに関わるさまざまな弱電関連機器がラインナップされている。

東日本エリアでの展開を積極的に推進中

これまで、同社は、本社のある九州

■ VOD「MEVIUS」



映画・アダルト800タイトル以上を提供。ルームオーダーの仕組みも高い評価

■ 「AiMO-WEB」



ネット活用のサービス・販促ツール。予約にも対応する

エリア中心の展開だったが、8年前に東京営業所を開設して以降、東京を中心に東日本全域にわたる展開を積極的に進めている。

「技術力がありレジャーホテルにおける弱電分野に精通した企業と代理店契約を結び対応しています。現在、東京都内、東北、北海道にも代理店を設けていますので、細部のメンテナンス等についても十分な対応ができる体制で臨んでいます」(大塚氏)という。さらに今後は、中部エリアでの展開も進めていく意向だ。

大塚氏は、「東日本では、まだアイシンの知名度が高くはありません。しか

し、導入ホテルからは、各種製品・システムともホテルのニーズに対応する機能と信頼性が高いという評価をいただいております。東日本のホテル経営者の方々も、コンピュータや各種弱電設備機器に関するご相談があれば、お気軽にご連絡ください」という。

[問合せ]
(株)アイシン
＜本社＞
福岡市南区高木 2-23-10 アイシンビル
TEL.092-586-0586
＜東京営業所＞
東京都大田区西蒲田 6-35-13 マンショングローリー 2F
TEL.03-3739-8181
http://www.aishin.biz